

淡路瓦の性能・特長

経済性

コストパフォーマンスで選べば、だんぜん淡路瓦になります。化粧スレート等の場合、初期費用は抑えることが出来ますが、10年目・20年目とランニングコストがかかります。しかも、耐熱性、断熱性に優れる淡路瓦屋根。寒さにも強く、湿度までコントロールする特性から、“冷暖房にかかる費用も節減できます。メンテナンス費同様、住むほどに光熱費の差も開くのです。

屋根面積100㎡の場合

建築時の初期費用	ローン平均終了時期			トータルコスト
	10年目	20年目	30年目	
淡路瓦 850,000円 <small>8,500円×100㎡(平部)</small>	点検	点検	点検	約1,000,000円 <small>点検費用50,000円×3回として</small>
瓦表面の塗装の必要なし				
化粧スレート・金属 500,000円 <small>5,000円×100㎡(平部)</small>	洗浄塗装 8,400円×100㎡ 足場 800円×450㎡ 840,000円	洗浄塗装 8,400円×100㎡ 足場 800円×450㎡ 840,000円	葺き替え 9,600円×100㎡ 足場 800円×450㎡ 1,320,000円	約3,500,000円

※金額・年数はあくまでも目安です。

25年 差額 2,500,000円

美観性

淡路瓦は色味・質感の美しさに定評のある瓦です。そして火や水、熱、化学物質と、さまざまな外敵に対して高い耐性を持っていることから、その美観が永く続くことも特長です。住む人の生涯に寄り添う強さ、強さゆえの美しさ。淡路瓦だけが誇れる総合性能です。



遮音性

瓦には、遮音性があり、屋根を打つ激しい雨音も全く気になりません。また、隣の家にも雨音は響きません。隣家が金属系の屋根であれば、窓・壁を通して雨音が響きます。



騒音レベルの比較

瓦	50dB	静かな事務所レベル
化粧スレート	60dB	普通会話レベル
金属系	70dB	電話のベルレベル

人にやさしい



淡路瓦工業組合

〒656-0332 兵庫県南あわじ市湊134

TEL: 0799-38-0570 FAX: 0799-37-2030

http://www.a-kawara.jp/



ホームページ



FACEBOOK

淡路瓦

検索

無断転写禁止
2016.10

瓦屋根こそ 耐震性が高い!!

瓦屋根 VS 軽い屋根 地震での風評被害を防ぎたい。



1400年前の現存する最古の瓦(元興寺)

人にやさしい



地域団体商標

瓦屋根は、大地震(震度6強～7)に耐えることができる

建築基準法改正

震度6強～7に耐える

建築基準法改正後、震度6強～7で倒壊しない柱と土台を金具で固定することを義務化。



重い瓦屋根でも耐えられる構造。壁を増やし、柱を太くし、バランスのとれたしっかりとした建築物となる。

耐震等級1…建築基準法 規定の耐震強度。
耐震等級2…建築基準法 規定の1.25倍の耐震強度。
耐震等級3…建築基準法 規定の1.5倍の耐震強度。

瓦屋根こそ耐震性が高い

荷重重量に余裕が出る

重い屋根として壁量を計算しております。仮に10として壁量を計算しているとします。そこに雪等が積もれば、1増えて、11と高くなります。軽い屋根の場合、5として計算しているので、雪が積もって6となります。

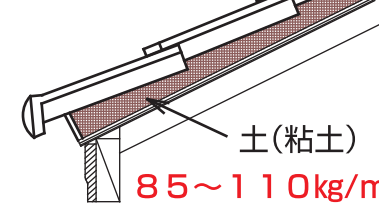
割合は、10→11 10%増
5→6 20%増

重い屋根の耐力には余裕があるが、軽い屋根はギリギリということになります。
太陽電池も同じです。

重さは旧工法の半分

軽い屋根材に太陽光を乗せた重さと同じ

以前の土葺き工法



現在は約半分の重さに

引っ掛け棧工

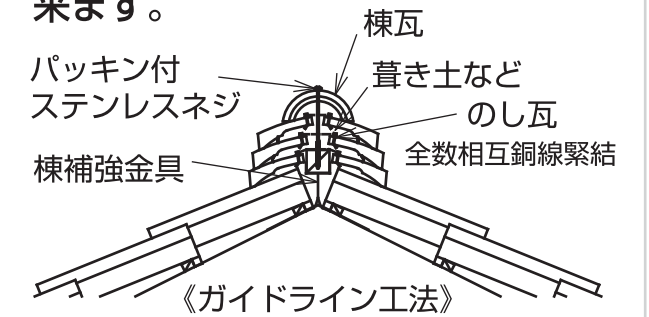


全瓦連 施工ガイドライン

棟部も震度7に耐える

「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」が国の監修のもと発行されました(2001年)。

このガイドライン工法を採用していれば、震度7でも瓦のズレ、飛散、棟部の倒壊を防ぐことができます。



耐震性は壁の量や配置などの**バランスこそが重要**です。

瓦屋根の場合、建築基準法では、重い屋根となるため**しっかりとした土台、柱、耐力壁等が必要**となります。

住宅は、**一生に一度**と言えるほどの**大きな買い物**です。簡易な土台、細い柱、少ない耐力壁で**軽い屋根材を選ぶのではなく、瓦を乗せることのできる丈夫な住宅を建てましょう。**

住宅ローンの平均は、**25年**と言われております。最低25年、**費用のかかりにくい瓦屋根**にしませんか。